

Lasertec News 22

株 主 通 信 第 5 8 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (2019年7月1日～2019年12月31日)



飛躍的な成長が目前に
新たなステージに向けた足場固めを急ぐ

Lasertec

証券コード6920

Lasertec



代表取締役社長
岡林 理

成長に向けた足場固めの年

◎ 第2四半期連結累計期間の業績報告

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、成長が鈍化しつつも堅調に推移しましたが、米中間の貿易摩擦をはじめとした保護主義的な通商政策や地政学的な情勢をめぐり、その先行きの不透明感がより強まりました。

当社グループの主要販売先である半導体業界では、CPU(中央演算処理装置)の供給不足などによりパソコンおよびデータセンター関連の需要が低迷し、スマートフォンの出荷も2年連続で前年割れとなりました。データ保存に使われるメモリーは生産調整が行われ、価格下落が長期間にわたって継続するとともに、メモリーメーカーでは投資抑制が続きました。しかしながらロジックデバイスメーカーの最先端分野では、次世代のEUV(極端紫外線)リソグラフィを用いた半導体製造が量産のステージに入りつつあり、大手デバイスメーカーやマスクブランクスメーカーがEUV関連分野でさらに積極的な投資を行いました。この投資は今年も継続する見込みです。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の売上高は199億48百万円(前年同期比18.5%増)となりました。営業利益につきましては79億88百万円(同55.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は55億93百万円(同45.3%増)となりました。売上、利益のいずれでも半期6カ月間の過去最高額を更新する業績となりました。

通期の見通しにつきましては、売上高400億円は期初予想から変更ありません。利益の面では、販管費の抑制により営業利益140億円(10億円の増加)を見込んでいますが、研究開発控除の減少等による税金費用の増加で、純利益は100億円と期初予想と変わらない見通しです。

● 第2四半期連結累計期間の受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注高は412億56百万円で、当社創業以来初めての400億円以上の半期受注高となりました。EUVマスク関連製品の受注が引き続き牽引しており、通期でも過去最高の受注高を見込んでおります。

● 新中期経営計画フェーズⅢ

2020年は次世代通信規格5Gの普及が始まり、スマートフォンや通信インフラの投資などが半導体の需要に追い風となっています。来年以降もAI(人工知能)、ADAS(先進運転支援システム)などの技術進歩とともに半導体需要がさらに高まると予想されており、半導体産業は数年おきの小さな需給の変動を繰り返しながらも長期的に成長する見込みです。

当社は半導体製造技術の進歩を成長の好機と捉えて、引き続き先端分野に注力してまいります。特にEUVリソグラフィに関わる分野では、昨年9月にアクティニックEUVパターンマスク欠陥検査装置 ACTIS(アクティス)を発表し、EUVマスク関連製品の品揃えを拡充いたしました。EUVマスクブランク欠陥検査/レビュー装置 ABICSと上記ACTISの両製品は、EUV露光装置と同じ波長(EUV光、波長13.5nm)の光を用いて検査を行う世界

初の製品として高い評価を頂き、今後半導体業界に大きく貢献することが期待されています。

下半期には今後数年の成長を見据えて社内体制の整備を進めるとともに、これらEUVマスク関連製品の受注および販売に努め、フェーズⅢ^(注)で目標とする『飛躍的な成長』に結び付けてまいります。

(注)2009年7月から2021年6月までの計12年間を、フェーズ0からフェーズⅢまで3年ごとに4つのフェーズに分け、それぞれに注力すべき目標を掲げた経営計画。当期はフェーズⅢの2年目に当たります。

● 中間配当

中間配当額は、前期中間配当に比べ15円増配の31円といたします。期末配当に関しましては、2020年1月1日付で1:2の株式分割を行った後の1株当たり24円(株式分割前の水準で48円)を予想しております。

レーザーテックは、経営理念とする「世の中にないものをつくり、世の中のためになるものをつくる」に基づき、「光技術の分野で、どこよりも早くソリューションを提供しお客さまの問題解決に貢献する」をミッションとして、業績の向上を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第2四半期連結累計期間 業績ハイライト

売上高	受注高	営業利益	純利益*
19,948 百万円	41,256 百万円	7,988 百万円	5,593 百万円
前年同期比 18.5% 増	前年同期比 57.1% 増	前年同期比 55.2% 増	前年同期比 45.3% 増

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

Topic 1

「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に選定(2019年8月7日)

「JPX日経インデックス400」は、日本取引所グループの東京証券取引所と日本経済新聞社が2014年から算出を開始した新しい株価指数です。資本の効率的な活用や投資家を意識した経営観点など、グローバルな投資基準で求められる諸要件を満たした「投資家にとって投資魅力の高い会社」

で構成されています。当社はこの構成銘柄に初めて選定されました。



Topic 2

新製品発売: アクティニック EUV パターンマスク欠陥検査装置 「ACTIS(アクティス) A150」(2019年9月12日)

EUVリソグラフィは、微細化が進む高度な半導体製造工程に必須の技術で、5G、AI、ADASの実用化には不可欠です。2019年から大手デバイスメーカー各社がEUVリソグラフィによる半導体の量産準備をスタートし、本格的な導入が進みました。当社が開発した「ACTIS」は、EUV露光装置と同じ波長(EUV光、波長13.5nm)を適用した世界初のマスク検査装置です。従来よりも高感度な検査とEUVパターンマスクに特有の欠陥を検出可能にし、EUVリソグラフィの発展に大きく貢献しています。



Topic 3

株式分割を実施

2019年12月31日の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、2株の割合をもって分割しました。当社株式の流動性を高め、投資家の

皆さまにより投資しやすい環境を整えるとともに、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

株主さまアンケート結果のご報告

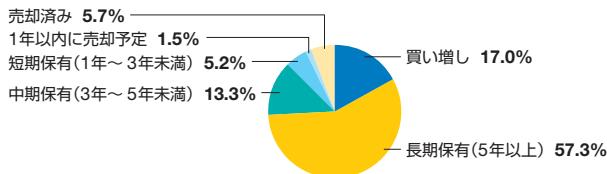
Lasertec News 21に同封のアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。このたび頂戴いたしましたご意見を今後の経営やIR活動に反映させていきたいと考えております。

紙面の都合上一部ではございますが、下記に調査結果をご紹介します。

アンケートの概要

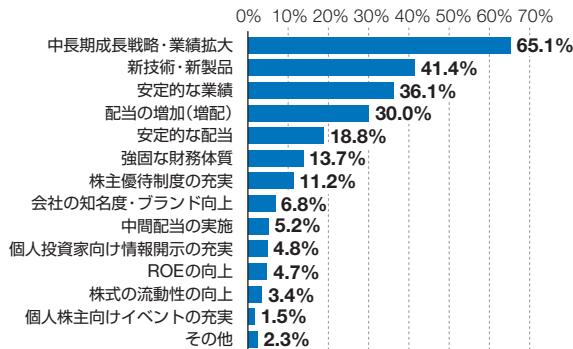
調査対象 株主さま6,598名
 調査方法 ハガキによる調査(2019/9/30～10/31)
 回答数 1,369通(回答率20.7%)

1 当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください。(1つだけ選択)



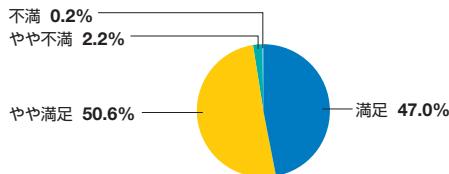
前回と比較すると「長期保有」の回答割合が増加しており、保有株数が多い方、保有期間が長い方ほど「長期保有」の回答割合が増え、100株未満の方では「買い増し」の割合が増えています。買い増ししやすい環境を整えるため、2020年1月1日付で当社は株式分割を実施しました。株式をご購入後も長期保有していただけるよう、企業価値向上を目指してまいります。

2 当社株式を買い増し、長期保有するとした場合、重要な要素は何ですか。(複数回答可)



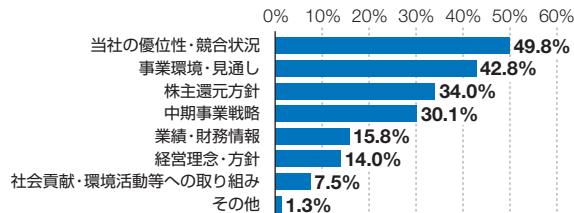
「中長期成長戦略・業績拡大」65.1%が突出し、次いで「新技術・新製品」41.4%の順となり、前回と同様の結果となりました。当社は最先端の光応用技術を活用したEUVマスク関連の検査装置の開発・販売を中心に、さらなる業績拡大を目指してまいります。

3 Lasertec News 21について全体のご評価(1つだけ選択)



株主通信全体の評価としては「満足」と「やや満足」の合計が9割を超えており、高い評価を得ました。一方で株主さまからは、英語、カタカナや専門用語が多く「製品、事業を理解するのが難しい」というお声も頂いております。専門分野に特化した事業ではございますが、ご理解いただきやすい説明に努め、これからも多くの情報を発信してまいります。

4 当社についてもっとお知りになりたい情報をお聞かせください。(複数回答可)



「当社の優位性・競合状況」49.8%、「事業環境・見通し」42.8%、「株主還元方針」34.0%の順となりました。半期ごとの機関投資家向け決算説明会資料をはじめ、当社の最新情報はWebサイトの「IRニュース」(<https://www.lasertec.co.jp/ir/news/>)に掲載しております。スマートフォンからご覧いただけますので、ぜひご利用ください。

今後も株主の皆さまとのより良いコミュニケーションの実現を目指し、アンケートを実施していきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2020年6月期（第58期）第2四半期累計期間の連結決算のご報告

連結貸借対照表(要約)

(百万円未満切り捨て)

科目	当第2四半期 2019年12月31日	前第2四半期 2018年12月31日	前連結会計年度 2019年6月30日	科目	当第2四半期 2019年12月31日	前第2四半期 2018年12月31日	前連結会計年度 2019年6月30日
資産の部				負債の部			
流動資産	50,076	36,665	39,841	流動負債	24,812	15,491	18,433
				固定負債	536	314	514
固定資産	10,689	8,957	10,214	負債合計	25,349	15,806	18,948
				純資産の部			
資産合計	60,766	45,623	50,055	株主資本	35,215	29,655	31,019
				① 純資産合計	35,417	29,816	31,107
				負債純資産合計	60,766	45,623	50,055

連結損益計算書(要約)

(百万円未満切り捨て)

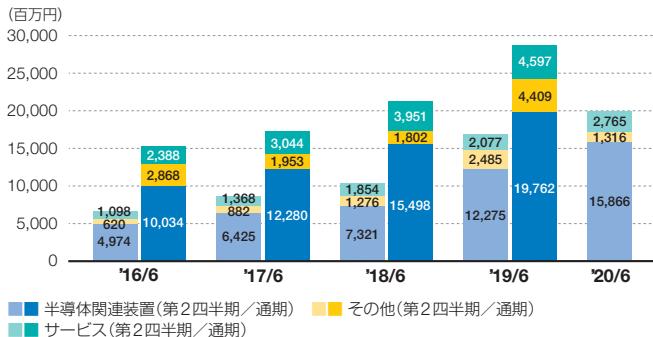
科目	当第2四半期 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)	前第2四半期 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	前連結会計年度 (自2018年7月1日 至2019年6月30日)
② 売上高	19,948	16,837	28,769
売上原価	8,279	7,334	12,853
売上総利益	11,669	9,503	15,916
販売費及び一般管理費	3,680	4,355	7,975
② 営業利益	7,988	5,148	7,941
② 経常利益	7,948	5,150	7,834
② 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	5,593	3,848	5,933

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

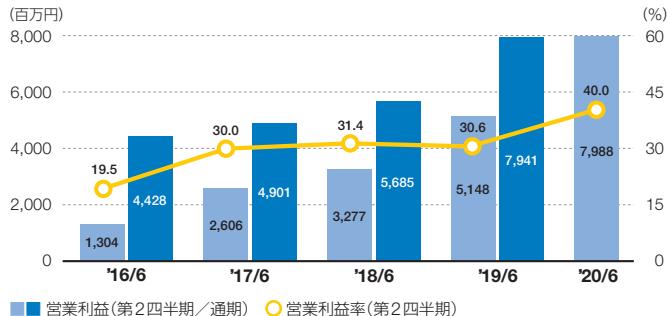
(百万円未満切り捨て)

科目	当第2四半期 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)	前第2四半期 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	前連結会計年度 (自2018年7月1日 至2019年6月30日)
③ 営業活動による キャッシュ・フロー	4,073	6,617	5,800
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,588	△272	△994
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,400	△992	△1,715
現金及び現金同等物の 期首残高	13,120	10,107	10,107
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	14,241	15,434	13,120

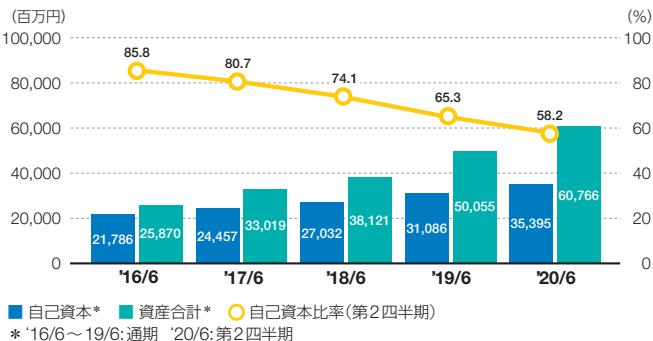
● 製品別売上高



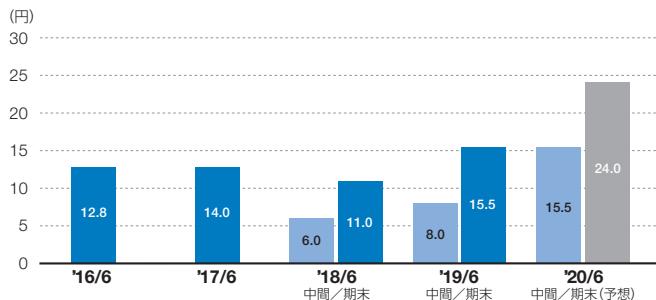
● 営業利益・営業利益率



● 自己資本・資産合計・自己資本比率



● 1株当たり配当金



※2016年6月期以降、普通株式1株につき2株の割合での株式分割を2回実施いたしました(2017年4月1日付および2020年1月1日付)。経年比較のため、上記の金額は2016年6月期の期首にこれらの株式分割が行われた仮定で算定しております。また、2018年6月期より中間配当を実施しております。

第2四半期：7月1日～同年12月31日 通期：7月1日～翌年6月30日

決算のポイント

① 純資産合計

株主資本にその他の包括利益累計額および新株予約権を加えた純資産合計は354億17百万円となりました。自己資本比率は58.2%で、引き続き財務の健全性を維持しています。

② 売上高/利益

半導体マスク欠陥検査装置および半導体マスクブランク欠陥検査装置が牽引し、半期において、売上高、利益が過去最高額を更新。営業利益は前年同期比50%以上の増加となりました。

③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益、前受金の増加などの収入要因が、たな卸資産の増加、法人税等の支払いなどの支出要因を上回りました。

会社概要 (2019年12月31日現在)

社名	レーザーテック株式会社
所在地	〒222-8552 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目10番地1
設立	1962年8月
資本金	9億3,100万円
主な事業内容	下記製品の開発・製造・販売・サービス 1. 半導体関連装置 2. エネルギー・環境関連製品 3. レーザー顕微鏡関連製品 4. FPD関連装置
従業員数	連結 402名 単体 267名
お問い合わせ先	045-478-7127 (経営企画室)

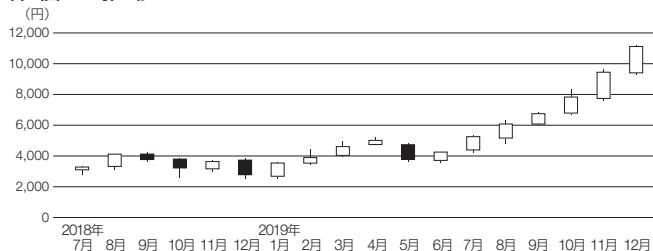
株式情報 (2019年12月31日現在)

株式概要

上場市場	東京証券取引所市場第一部
発行済株式総数	47,143,200株
株主総数	12,361名
大株主一覧	持株数(千株) 持株比率(%)
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS (常任代理人 香港上海銀行東京支店カスタディ業務部)	2,344 5.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,162 4.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,050 4.54
内山 靖子	2,003 4.44
内山 洋	1,741 3.86
株式会社三菱UFJ銀行	1,504 3.33
内山 秀	1,394 3.09
前田 せつ子	1,293 2.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	831 1.84
UCHIYAMA HOLDINGS 株式会社	807 1.79

(注) 1. 当社は、自己株式を2,054千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。また持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
2. 持株・持株比率は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株価の推移



(注) 当社は2019年12月31日を基準日として、2020年1月1日付で1株を2株に分割いたしました。2019年12月の株価は12月26日(株式分割による株価調整前)までのデータを使用しております。

役員

代表取締役社長 岡林 理	社外取締役 梶川 信宏 海老原 稔 下山 隆之
代表取締役副社長 楠瀬 治彦	常勤監査役 塚崎 健明
常務取締役 内山 秀	監査役 齋藤 侑二 石黒 美幸
取締役 森泉 幸一 関 寛和	

株主メモ

事業年度 7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 毎年9月
基準日 毎年6月30日(なお、その他必要あるときは、あらかじめ公告した日)

単元株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載URL <https://www.lasertec.co.jp>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

当社Webサイトのご案内

<https://www.lasertec.co.jp/ir/>

Webサイト「株主・投資家の皆さま」にも詳細なIR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

